

平成30年度 第6回 新道区地域協議会 次 第

日時：平成30年10月16日（火）午後6時30分から
会場：新道地区公民館 多目的ホール

延 約100分

1 開 会

2 議 題

【95分】

（1）自主的審議事項について

- ① 審議テーマについて（確認）
- ② 市関係課からの説明と質疑応答（その1）

市担当課	説明内容
行政改革推進課	公の施設の再配置計画
農村振興課	芙蓉荘
社会教育課	新道地区公民館

3 その他

【5分】

（1）次回開催日の確認等

- 日時 : 11月__日（ ） 午後6時30分から
- 開場 : 新道地区公民館 多目的ホール
- 内容（案） : 自主的審議について
・市関係課からの説明と質疑応答（その2）

4 閉 会

新 道 区 の
ア イ コ ト バ

- ◎ 発言は、簡潔に話そう！
- ◎ 発言しやすい雰囲気をつくろう！
- ◎ 個人の意見を平等に扱おう！

自主的審議事項について（決定事項）

■平成30年9月5日新道区第5回地域協議会にて決定

1. テーマ

新道区内における公の施設（芙蓉荘・新道地区公民館・富岡児童館 等）の老朽化と今後の整備について

2. 概要

【概要】

- ▶ 新道区には、地域の活動拠点である芙蓉荘、新道地区公民館や、児童の健全育成に寄与している富岡児童館等があるが、いずれも老朽化が顕著である。
- ▶ 地域では地域福祉「新道みつわ会」が発足し、高齢者サロンを展開している（区内3か所：芙蓉荘、かも子会館、稲田二丁目町内会館）が、快適に活動できる環境が整った施設が必要であり、富岡児童館も子育て環境の確保の観点から重要な役割を担っていることから、これら施設の老朽化対策、見直しが急務である。
- ▶ これらを踏まえ、今後、新道区ではどのような団体等が施設を活用しているかなどの実態について市からの説明をもとに確認し、少子化・高齢化を見据えながらニーズを掴み、機能の整理や統合なども含め、真に必要な施設を考えていく。

3. 主な市の関係課

- ▶ 公の施設全体に関すること（行革推進課）
- ▶ 芙蓉荘（農村振興課）
- ▶ 新道地区公民館（社会教育課）
- ▶ 富岡児童館（学校教育課[児童クラブ]・こども課[子育てひろば]） ほか

上越市の行政改革（公の施設の適正配置）の取組について

1 第5次行政改革の取組成果

(1) 第5次行政改革の概要

- 計画期間を平成27年度から30年度までとする第5次行政改革では、『すこやかなまち～人と地域が輝く上越～』の実現に向けた土台づくり」を目標に掲げ、市政運営や地域を支える持続可能な「行財政基盤の再構築」の実現に向けた取組を進めてきた。
- 具体的には、重点取組として「財政の健全化」、「行政運営システムの見直し」、「人材育成・組織風土の改革」、「『新しい公共』の創造・推進」の4項目を掲げ、推進計画に定めた42の取組項目について、PDC Aサイクルによる進捗管理を行いながら取り組んできた。

(2) 「財政の健全化」に向けた「公の施設の再配置」の取組と成果

- 公の施設の再配置の取組は、市町村合併により集会、スポーツ、温浴などの施設が重複し、飽和状態であったことから、各施設が果たす役割と機能を整理しつつ、施設の適正配置の取組を進めることにより、現役世代のみならず次の世代の負担軽減も図っていくことを目的に行ってきた。
- これまでの取組では、社会福祉施設を関係者へ譲渡したほか、利用者が少なく公費負担が多い施設などの廃止・休止を進め、その結果、合併時に約1,000を数えた公の施設は、平成30年度当初において747施設まで減少した。

2 市政運営上の課題

(1) 財政運営上の問題・・・収支不足額を財政調整基金で補う財政収支の常態化の懸念

- 第2次財政計画では、計画期間を通じて収支不足額が生じ、財政調整基金からの繰入金で補てんすることとした。この収支不足額は、平成31年度以降は更に拡大すると見込んでおり、次期行政改革において、新たな取組や更なる強化策を実施し、収支の均衡を図ることが、第2次財政計画策定当初からの課題であった。
- 一方、財政計画策定から3年が経過する中で、歳入では、普通交付税や地方消費税交付金が計画の見込みを下回るとともに、歳出では、国の制度変更等に伴う地方負担の増大や新たな財政需要が発生するなど、計画値と決算額との乖離が拡大する傾向にある。今後の情勢如何で、収支不足額が更に拡大する懸念も生じている。

- 課題
- 財政調整基金の取崩しに頼らない持続可能な行財政基盤の確立
 - 限られた経営資源の最適配分のための仕組みの確立

(2) 資産管理上の問題・・・施設の重複・老朽化、都市インフラの老朽化、将来的な利用者の減少、更新費用の増大 など

- 前述の取組と成果のとおり、これまでの公の施設の再配置の取組で、平成17年の合併当時に約1,000あった施設数は、平成30年4月1日現在で747施設にまで減少した。
- しかし、再配置の対象となった施設は町内会館として利用されていた多目的集会施設や民間譲渡が可能なデイサービスセンター、利用者が少なく公費負担が多い施設等に留まっており、合併に伴い継承した施設の機能重複の解消や民営化等の取組が進んでいない。
- また、公の施設を管理するために設立された第三セクター等が運営し、民間とも競合する温浴・宿泊施設等の見直しも進んでいない。
- さらには、将来的な人口減少による施設需要の減少と、老朽化による施設の維持管理経費の増大も見込まれる。

- 課題
- 適正配置や民間譲渡の推進による施設の総量抑制
 - 計画的な施設の更新・統廃合・長寿命化による財政負担の軽減・平準化
 - 第三セクター等の存廃も含めた在り方の見直し

3 第6次行政改革の考え方と公共施設の最適化に向けた取組方向

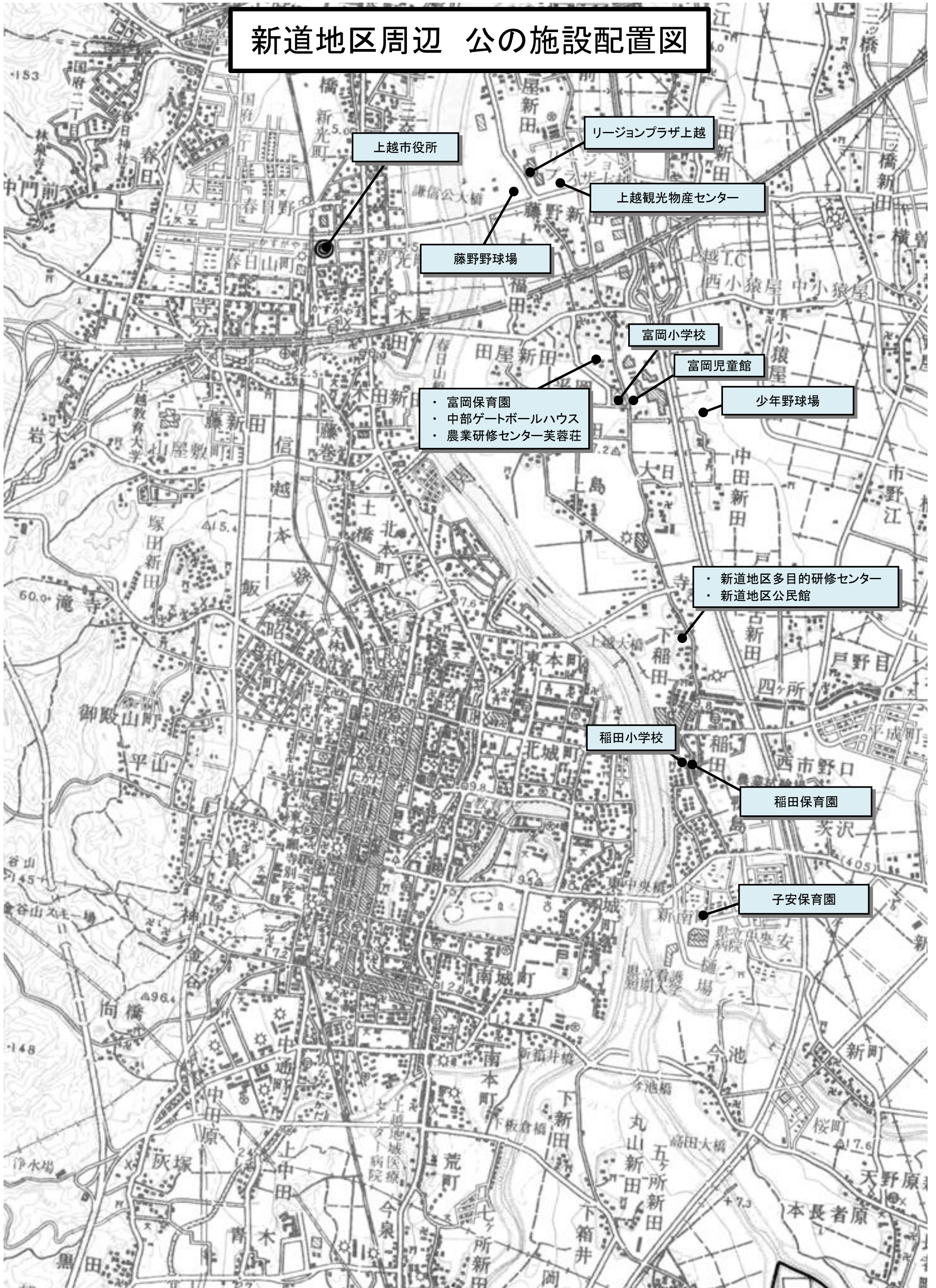
第5次行政改革の目標を継承し、『すこやかなまち～人と地域が輝く上越～』の実現に向けた土台づくり」を目標に掲げ、市政運営や地域を支える持続可能な「行財政基盤の再構築」の実現を目指していく。

(1) 公共施設（インフラを含む。）の最適化に向けた取組

目標…「まちの将来を見据えた施設の適正配置の推進と適正かつ計画的な維持管理の実現」

- 取組方向
- 施設の機能や役割に着目し、将来に向けて真に必要な施設や機能を顕在化させる。
 - 機能が必要な施設でも民間譲渡が可能な施設は、譲渡を推進する。
 - 機能が重複している施設は、適正配置の観点で総量を抑制する。
 - 将来にわたり存続させる施設は、適正かつ計画的な維持管理方策を具体化し、中長期的な維持管理・更新等の経費の削減を図る。

新道地区周辺 公の施設配置図



上越市役所

リージョンプラザ上越

上越観光物産センター

藤野野球場

富岡小学校

富岡児童館

少年野球場

- ・ 富岡保育園
- ・ 中部ゲートボールハウス
- ・ 農業研修センター芙蓉荘

- ・ 新道地区多目的研修センター
- ・ 新道地区公民館

稲田小学校

稲田保育園

子安保育園

調査票

施設名	新道地区多目的研修センター(新道地区公民館)
所管課名	農村振興課(社会教育課)

① 維持管理及び運営 (平成29年度決算・各論より引用)

		備考
所在地	上越市大字寺 81 番地 4	
設置	昭和 56 年	築： 37 年(平成 30. 4. 1 現在)
構造	鉄筋コンクリート 2 階建	耐用年数： 60 年
面積	延べ床面積 341.68 m ²	貸室：調理実習室、会議室、創作室、多目的ホール
管理	直営方式	公民館主事 1 名を配置
耐震	基準を満たしている	
その他	(開設時間) 8:30~22:00 (対象者) 区域内の住民	休館日：12 月 29 日~1 月 3 日

② 施設の管理実績 (利用者数等)

	平成 26 年度 (決算)	平成 27 年度 (決算)	平成 28 年度 (決算)	平成 29 年度 (決算)	平成 30 年度 (予算)
利用者数	3,540 人	4,473 人	4,634 人	3,821 人	4,000 人
うち、主な 利用団体名 (延人数)	多種多様な団体・サークルなどが定期利用されていることから、上記表内の主な利用団体名の掲載は省略。				
利用件数※	435 件	546 件	653 件	585 件	500 件

※「利用件数」は把握している場合のみ

③ 施設管理における市の収支状況 (各年度決算・各論より引用)

(単位：千円)

	平成 26 年度 (決算)	平成 27 年度 (決算)	平成 28 年度 (決算)	平成 29 年度 (決算)	平成 30 年度 (予算)
①収入					
使用料	108	108	211	184	277
その他					
合計	108	108	211	184	277
②支出					
施設維持管理費	481	479	514	476	471
(うち委託料)	(144)	(137)	(207)	(169)	(93)
その他	142	66	105	402	169
合計	623	545	619	878	640
③公費投入額 (②-①)	515	437	408	694	363
利用者 1 人当 り公費投入額 (③/利用者数)	145 円	98 円	88 円	182 円	91 円

④ 今後の改修計画 (該当項目に☑)

- 計画あり (時期：_____年度)
- 計画なし
- その他 (必要と思われる箇所修繕等を検討中：玄関ドア取替、ベランダ柵塗装、屋上防水、外壁補修)

⑤ 公の施設の再配置計画における当該施設の位置付け (該当項目に☑)

- 維持
- 廃止
- その他 (地区公民館の機能は、原則として各地域自治区に所在する集会機能を有する施設に置く。)

調査票

施設名	農業研修センター芙蓉荘
所管課名	農村振興課

① 維持管理及び運営 (平成 29 年度決算・各論より引用)

		備考
所在地	上越市	
設置	昭和 54 年度	築：39 年(平成 30. 4. 1 現在)
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建	耐用年数：50 年
面積	853.27 m ²	
管理	直営(業務委託)	
耐震	対応未済	玄関ポーチ及びボイラー煙突について、耐震基準を満たしていないが、建物本体は耐震基準を満たしている。
その他	(開設時間)9 時～17 時(予約時最大 22 時)休館日:火・木曜日(対象者)	開設時間は平日・土日祝の区分も含む

② 施設の管理実績 (利用者数等)

	平成 26 年度 (決算)	平成 27 年度 (決算)	平成 28 年度 (決算)	平成 29 年度 (決算)	平成 30 年度 (予算)
利用者数	11,755 人	12,725 人	10,981 人	9,844 人	
うち、主な利用団体名(延人数)	<ul style="list-style-type: none"> 市主催事業 (3,246 人) そろばん・習字・学習塾 (2,398 人) ダンスサークル (853 人) ハイチ・アケチ・サークル (548 人) 町内会関係 (283 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催事業 (4,473 人) そろばん・習字・学習塾 (2,072 人) ダンスサークル (812 人) ハイチ・アケチ・サークル (397 人) 町内会関係 (486 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催事業 (4,226 人) そろばん・習字・学習塾 (1,762 人) ダンスサークル (820 人) ハイチ・アケチ・サークル (333 人) 町内会関係 (601 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催事業 (4,072 人) そろばん・習字・学習塾 (854 人) ダンスサークル (596 人) ハイチ・アケチ・サークル (269 人) 町内会関係 (680 人) 	利用者数見込みは作成していないため、未記入
利用件数※	971 件	893 件	814 件	762 件	

※「利用件数」は把握している場合のみ

③ 施設管理における市の収支状況 (各年度決算・各論より引用)

(単位：千円)

	平成 26 年度 (決算)	平成 27 年度 (決算)	平成 28 年度 (決算)	平成 29 年度 (決算)	平成 30 年度 (予算)
①収入					
使用料	678	619	528	366	528
その他	2	0	0	48	49
合計	680	619	528	414	577
②支出					
施設維持管理費	5,219	5,211	5,312	6,523	6,147
(うち委託料)	(3,636)	(3,435)	(3,479)	(3,462)	(3,632)
その他	—	—	—	—	—
合計	5,219	5,211	5,312	6,523	6,147
③公費投入額(②-①)	4,539	4,592	4,784	6,109	5,570
利用者 1 人当たり公費投入額(③/利用者数)	386 円	361 円	436 円	621 円	利用者数見込みは作成していないため未記入

④ 今後の改修計画 (該当項目に☑)

- 計画あり (時期：_____年度)
- 計画なし
- その他 (施設の維持・安全管理に必要なものについては、その都度対応を検討していく)

⑤ 公の施設の再配置計画における当該施設の位置付け (該当項目に☑)

- 維持
- 廃止
- その他 (見直し:休館日増設に向け試行的な取組を実施中)